平成 28 年 4 月 4 日

第 6 回学生研究者交流会 報告書

電気通信大学 SC 代表 市原 文彦

開催日 : 2016 年 3 月 19 日
場所 : 東京工業大学大岡山キャンパス W822 会場

1　活動内容

応用物理学会に参加している企業で実際に研究開発に取り組んでいる若手研究者にお越しいただき, 学生と座談形式でフリートークを行うことで, 学生の進路に関する考え方や, 残りの学生生活をどのように過ごしたらよいかなど, 将来に関するヒントを得た.

また, 海外への進学, ポスドク留学など就職以外の道も選択可能であることを EURAXESS の Matthieu 様よりお話ししていただいた.

事前予約, 当日参加合わせて 56 名の学生が参加した. 7 つのグループに分かれて行ったフリートークは終始賑やかで学生から企業の方に積極的に話している様子が伺えた. 外部で行っている説明会とは異なり, 研究者に来ていただいているため学術的な内容の話でも盛り上がっているのが聞こえて来るほどであった.

2　報告・反省点

行ったアンケートには ”恒例化してほしい ” という意見が多く見られた. 就職活動がスタートする 3 月の学会は特に修士 1 年生が発表しづらい時期であると考えるられるが, 企業チャプターと協力し本格的な交流会になれば, 学生にとって学会参加が, 研究成果発表だけでなく, 将来について考える場, 他大学の学生との交流の場になり, 多くの学生が大義名分を得られる. 反省点としては, 45 分 3 セットは時間的に長かったという意見が多く見られ 30 分 2 回 15 分休憩 30 分 2 回の方が参加者に配慮した時間割であった. また, 各グループの内容をすべて把握していないのだが, 学生間での交流会を開いてほしいという意見もあったため, 学生同士の会話が少なかったように思える. これらの点は恒例化するのであれば改善していく必要がある.

ポスターの作成も遅れが目立ち, 告知から事前予約に速やかにつなげることができなかった.

図 1: 当日の様子